

建築家の

往復書簡

磯崎新 — 原広司

7

数学モデルと

呼ばれるものについて…

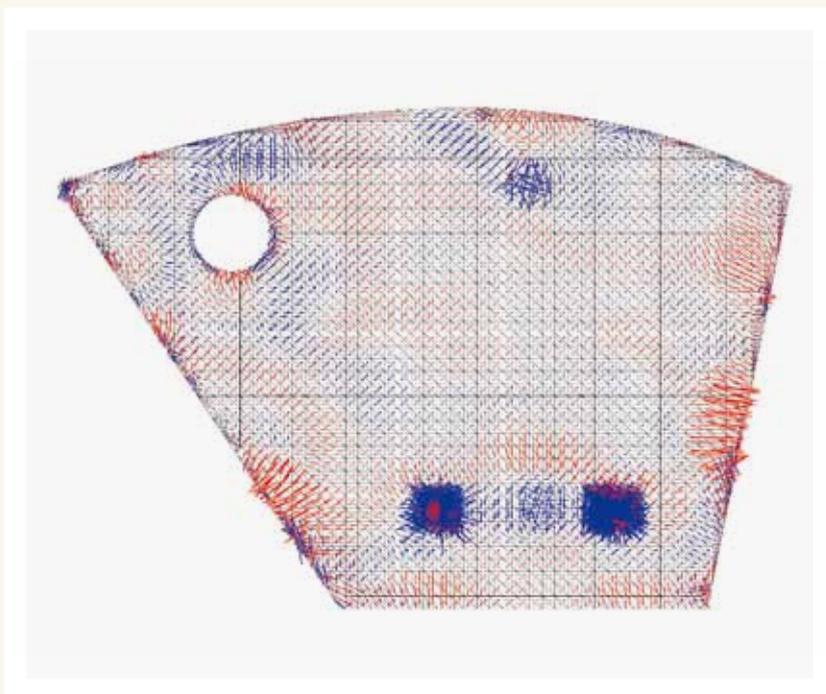
原広司 著

ARATA ISOZAKI

磯崎新

今回は数学モデルと呼ばれるものについて、お聞きしたいと考えました。勿論これまでの時間や空間についての理解もそんな枠内であり得ることは承知のうえでの質問です。半世紀前、「都市破壊業KK」という駄文を書いたのが

思いがけず流通し、私は壊し屋印を押されて今日に至っております。破壊があつてはじめて建設ははじまるといふ単純な考えでした。大火(ロンドン)、震災(東京)に加え、人災(戦争)ぐらいしか思いつきませんでした。物理的・制度的破



北方町生涯学習センターさりり[岐阜県/2005] | 主曲げ応力ベクトル[提供:佐々木睦朗構造計画研究所]

株式会社 INAXサンウエーブ"マーケティング"

[送付担当支社]

- 北海道統括支社 Tel.011-330-1710 Fax.011-330-1717 〒065-0008 札幌市東区北8条東10丁目1番1号
- 東北統括支社 Tel.022-301-1701 Fax.022-301-9726 〒981-0933 仙台市青葉区柏木一丁目2番45号 フォレスト仙台
- 首都圏統括支社 Tel.03-4435-7903 Fax.03-4335-7908 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町16番9号 箱崎ビル
- 関東統括支社 Tel.048-668-1227 Fax.048-666-7047 〒331-0811 さいたま市北区吉野町一丁目23番6号
- 中部統括支社 Tel.052-310-1703 Fax.052-310-1701 〒461-0005 名古屋市中区東桜一丁目4番16号
- 関西統括支社 Tel.06-6539-3500 Fax.06-6539-3524 〒550-0012 大阪市西区新町1丁目7番1号
- 中国統括支社 Tel.082-850-3917 Fax.082-850-3920 〒731-0113 広島市安佐南区西原六丁目11番8号
- 四国統括支社 Tel.087-815-3377 Fax.087-815-3390 〒760-0079 高松市松縄町123番地
- 九州統括支社 Tel.092-471-1741 Fax.092-471-1751 〒812-0007 福岡市博多区東比恵二丁目8番16号

● 送付先の変更・停止は、Faxまたはハガキで、最寄りの支社にご連絡ください。



For Precious Life

カ-RP185

9011046170



壊をいうのが精一杯でした。この半世紀をふりかえると、震災(神戸)、人災(オウム)ぐらいいは破壊に至らない。だが大都市はますます拡張する。建設は死語になったとしか思えない有様となりました。破産したのでしょうか。

十五年ぐらいい昔、ニューヨークのまっとうなアートコレクターが、「最近、ヘッジファンドをやる連中があぶく銭で美術市場をかき混ぜ、値段が上がりあがってしまった、困ったものだ」と嘆くのを聞きました。さらに半世紀昔なら悪徳商人呼ばわりされたのでしょうか、この新興成金は、ノーベル賞をもらったような経済理論を使って、ウォール街でもうけていたようで、文句もいえない。何しろこのアートコレクターも当時は出版メディアでめばしい視覚的雑誌を傘下に収めつつ買収をつづけていた人だから、現代美術を芸術的価値でなく市場の価格でみるような野蛮なコレクターの横行を嘆くぐらいいしかできなかった。それから十年すぎると、

価値と価格の逆転は美術の制度そのものをゆすつています。その経済理論は数学モデルに基いているのは周知の事実です。

アレクザンダーの「都市はツリーではない」のひとこと、近代の都市計画論は崩壊しました。ツリー/セミ・ラティスは勿論、群論に由来するので数学モデルです。壊し屋印を書いた二年後にこの論文をみつけて、私は「見えない都市」しか語れなくなりました。それでも都市のスカイラインは毎日眺めざるを得ない。コルブの「輝ける都市」もヒルベルザイマー/ミースの都市もいっこうに出現しない。世界に出現したのはマンハッタン・モデル。インフラはあっても単純に投機的対象としかたてない。棒グラフそのままのシルエットです。いやそれこそウォール街で取引されている市場のメカニズムを視覚化したのではないのか。景気動向を示す棒グラフは凹凸をもった大都市の姿そのままにみえるではないですか。

磯崎 新 集

たしか磯崎さんは、西の方に、お出かけだったのですね。私は、ボリビアのラパスに行き、小さな展示用の住宅を、主として南米の若者たちと建てて、帰ってきたところです。磯崎さんが、イスラム世界をふくめた西方におもむき、私は地球の反対側の南へ行く。これは、いつか、話題にしたら面白いと思っています。

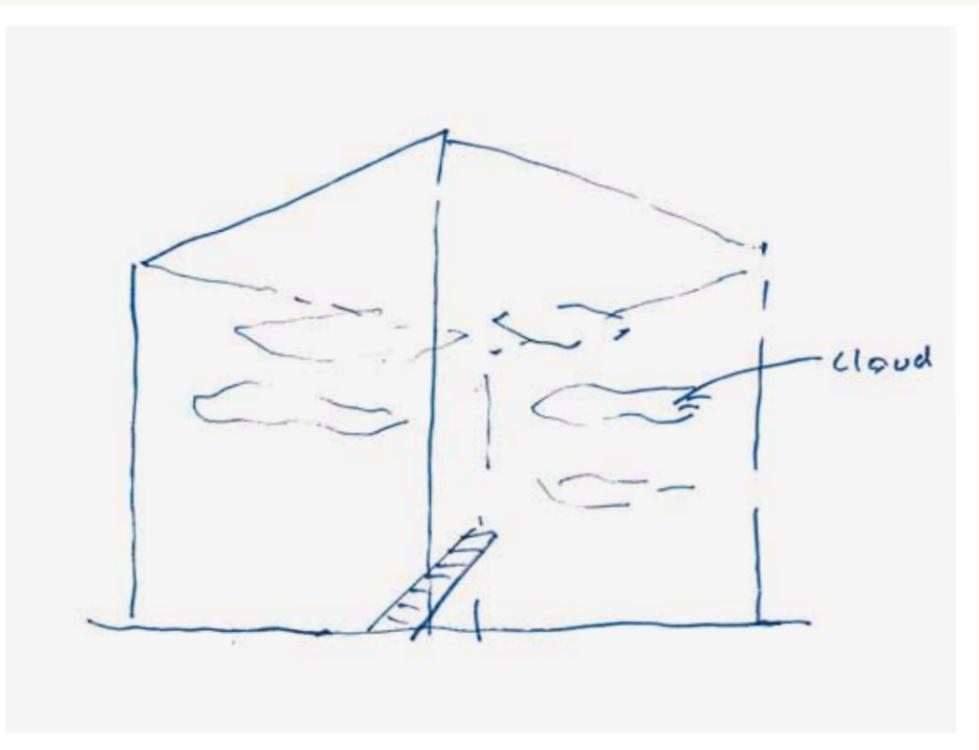
さて、今回の数学モデルについてですが、磯崎さんの怒りというか、指摘の一端は、経済学という分野が、相当あやふやな基礎から素養を積み重ねる以外に道はない。

きっと、気になったのが、誤りのもとなのでしょう。でも、頭脳明晰な集団が、百年かけて破綻もきたさず、想像力を傾注していれば、気になりますよね。もし、他に何か気が

しいのではないのでしょうか。数学以前のところで、まあ、都市や建築は「ひっかけられる」側で、もっとあやしく見えるのでしょうか。数学が、ひとたび、世間の悪に活用されたら、その純粹培養の性格から何の抵抗力もなく、ひとたまりもない。数学は、観念的な領野にとどめておかないと、大火傷をするのではないか、というのが私の実感です。

と申しますのは、十九世紀に、ガウス、リーマン、ポアンカレ等々のとんでもない天才たちが現れて、二千年以上に及ぶ長い眠りが破られて、二〇世紀になって、驚くべき展開を見た。革命があるうが、戦争があるうが、そんな関係はない。かと言って、数学者はそれぞれ勝手に研究している訳ではなく、強い連帯のもとに研究している。まあ、実に不思議な現象であり、何が研究され、どんな体系が構築されているのか、結社の外では、あまりに難解でほとんど理解することは、不可能。エクリチユールの構文は、極めて単純で、定義と命題と証明があるだけ。やさしい解説などあり得ず、

なることがあれば、別の話ですが。周知の通り、数学は、現実の出来事と乖離したところで論理構築をはじめます。数学は、数学のためだけにある。とすれば、ある分野で、数学を活用したモデルを組むとす



ライティングプロジェクト [オーストリア/2010] | 初期スケッチ

そこで、「都市工学は金融工学に吸収されてしまった。投機が共通のパラメーターになった。その原理に数学モデルが使われている」という乱暴な意見をこの数年いつづけています。現代の数学モデルを扱うことをやったことのない私として、この件は原学兄にぜひとも確認したいことなのです。塔状のスカイラインは投機の偶有性によって説明できる、というたわいもないものかも知れません。しかし、いまや都市破壊業はサブ・プライムローン事件のように、数学モデルを営業方針とする業者の手に移ったのです。アレクザンダーはパートナー・ランゲージなどいわずにうちをやればよかったです。パークレーみたいなどころに行つたので、機を逸したのかも知れません。

二〇一〇年十二月十二日
磯崎 新

Hiroshi Hara
原 広司

だが、この不思議な持続も、弱点がないでもない。もし、ポアンカレの考えが正しければ、「全くの幾何学は、体験を抜きにしては考えられない」という点です。つまり、いかに抽象的に想像力をはたらかせても、その思考は現実と無関係ではすまされない。ポアンカレの言葉が、いまも有効であるとするれば、この純粹培養の思考の過程は、スコラ哲学や神知学が残した人間の思考の歴史のようなものかもしれない。

まあ、私には無理でしょうが、誰かが、現代の幾何学の様子、外からは壮麗に見えるフィクショナル리티の構築を探索に行かねばならないと思われれます。もし、現実に作用を及ぼすような数学モデルがあり得るとすれば、その探索のあとでもよいでしょう。でも、私が推測する限りでは、現実とは切り離されたところに成立するフィクショナルな論理構築は、いわば芸術や美学のように、私たちの前に現れるのではないのでしょうか。

二〇一〇年十一月十四日
原 広司

いそさきあらたー建築家一九三三年生まれ一九六六年、東京大学教務系大学院建築学博士課程修了。一九六三年、磯崎新アトリエ設立。
はらひろしー建築家一九三六年生まれ一九六四年、東京大学教務系大学院建築学博士課程修了。一九六九年、東京大学生産技術研究所一九九七年、退官、同名教授。一九七〇年よりアトリエアトリエ建築研究所と設計共同。一九九九年より原広司アトリエアトリエ建築研究所所属。